

2017年1月25日

生活協同組合連合会コープネット事業連合 御中

## 誤申告の再発防止ならびに水産物調達方針の改善に関する要請書

小売業における水産物の調達方針の持続可能性を調査した、お魚スーパーマーケットランキング6(2016年11月発表)におきまして、貴事業連合で取り扱いをしない絶滅危惧種として、太平洋クロマグロ・大西洋クロマグロ・アメリカウナギ・ヨーロッパウナギの4種をご回答いただきました。しかしながら、同年末にグリーンピース・ジャパンが実施した追調査において、実際にはコープデリにて大西洋クロマグロが、また店舗にて本まぐろ(魚種特定不可)の取り扱いがあることが判明いたしました。

その後さらに、貴事業連合からのご報告により、太平洋クロマグロの取り扱いについても、「取り扱いをしない」と定められているものでないことが明らかになりました。

これらの事実をもとに、ご回答内容を再評価致しましたところ、総合順位は2位から3位へ、絶滅危惧種のカテゴリーは57.14%から28.57%に変更するとともに、カテゴリー・チャンピオンを取り下げる結果となりました。

お魚スーパーマーケットランキングは、アンケート調査の回答内容を評価するものであることから、参加企業・団体に提出いただく回答の真実性に大きく依存する性質を持ちます。事実と異なる内容の申告は、お魚スーパーマーケットランキングの信ぴょう性ならびに参加企業・団体とともに前進してきた持続可能な調達方針に向けた取り組みを著しく損なうことであり、また何よりも、貴事業連合を通じてサステナブル・シーフードを購入したいと願う消費者の信頼を裏切ることにはほかなりません。

上記につきまして、早急な対応をしていただきたく、下記の通り、お願い申し上げます。

### 記

1. 事実と異なる内容を回答することに至った経緯ならびに原因を究明するとともに、再発防止のための取り組みをご報告ください
2. 絶滅危惧種の調達中止を含む、水産物の調達方針を速やかにより持続可能なものへと改善し、改善内容及び計画を公表してください

以上

国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン

プログラム部長

タマラ・スターク

